

## 日本モンテッソーリ協会(学会)近畿支部の研修会の報告

今年度の日本モンテッソーリ協会(学会)近畿支部の研修会は、コロナ感染症の収束が見通せない状況であることから、1月11日に、Zoomによるオンラインでの開催となりました。

今回のオンライン研修は、124名が参加し、エンジェルハウス研究所所長、田中昌子先生が「新しい時代にこそ求められるモンテッソーリ教育」～親育ちを援助するチャンス～と題して、時代を超えたモンテッソーリの普遍的な理念を確認し、考え、子育て支援をしていくために大切なポイントを教えてくださいました。

変化が激しく予測が困難な事が多い現代、子ども達が求められている教育は、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら判断して行動するアクティブラーニングであり、それこそまさにモンテッソーリ教育であることを改めて実感しました。

講話の中で、故相良敦子先生のメッセージも、たくさん伝えていただきました。中でも、「ありのままのあなたでいい」「自分も大切、相手も大切」という言葉をいつも心に置きながら、私たち自身謙虚な気持ち、奇跡的に生きている存在であることを改めて認識し、子ども達の為に力を注ぎたいと思いました。子ども達に対して肯定的な見方、援け方をすることを大切に、子どもが一人で解決することを手伝って生きるようになりたいと思いました。

また、親育ちの援助として、保護者の方の話をしっかりと傾聴し、共感し、答えを出すのではなくヒントを伝え、保護者自身が気づいていけるようなかわりをしていきたいと思いました。

モンテッソーリ教育に携わる者として、これからも精進し子ども達のために奉仕していきたいと思えます。